



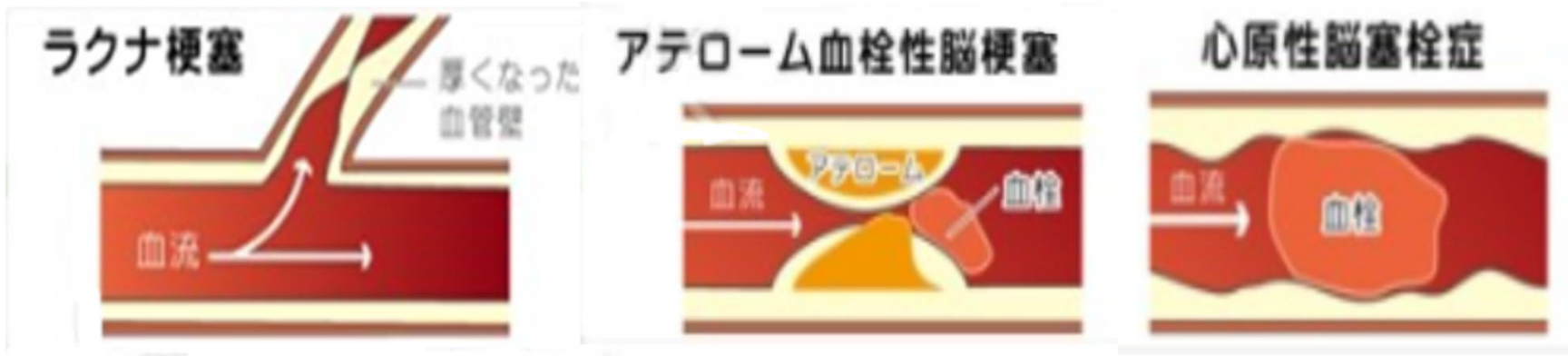
脳卒中の生活期に使われる 薬について

JCHO東京高輪病院 薬剤科

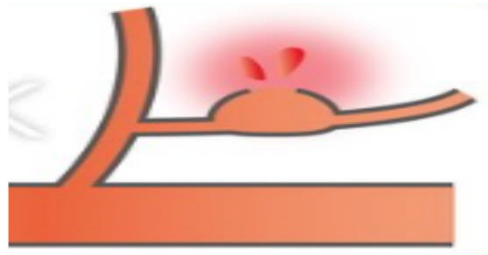
薬剤師 山本泰子

脳卒中

- 脳の血管が詰まる(脳梗塞など)



- 脳の血管が破れる(脳出血など)



脳梗塞で使用される薬

- 血液をサラサラにする薬
(抗凝固薬・抗血小板薬)

脳梗塞・脳出血で使用される薬

- 基礎疾患治療薬
 - 高血圧治療薬
 - 高脂血症治療薬
 - 糖尿病治療薬など

脳梗塞で使用される薬

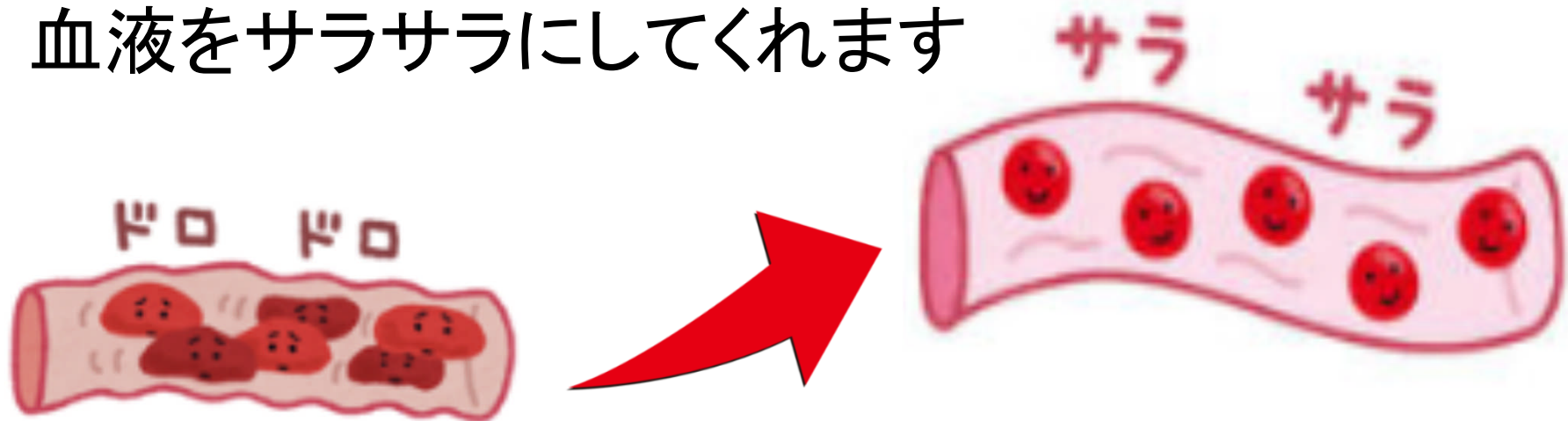
- 血液をサラサラにする薬
(抗凝固薬・抗血小板薬)

脳梗塞・脳出血で使用される薬

- 基礎疾患治療薬
 - 高血圧治療薬
 - 高脂血症治療薬
 - 糖尿病治療薬など

血液サラサラ薬

種類によって作用は異なるが、
いずれの薬も再び血管が
詰まらないように、
血液をサラサラにしてくれます



代表的な血液サラサラ薬

たとえば

- ・ワーファリン®
- ・バイアスピリン®
- ・プラビックス®
- ・エリキュース®
- ・イグザレルト®など



※脳梗塞の種類などで使用する薬は異なります。

血液サラサラ薬 内服中の注意点

- 出血した際止まりにくい
- あざになりやすい(内出血)
- 歯の治療や手術を予定している時は
あらかじめ中止する場合がある



歯磨きも
やさしく





ワーファリン®特有 の注意点

- **ビタミンK** を多く含む食品を食べると
ワーファリン®の効果が**下がる**！！
たとえば・・・納豆、クロレラ、青汁、
緑黄色野菜など



脳梗塞で使用される薬

- 血液をサラサラにする薬
(抗凝固薬・抗血小板薬)

脳梗塞・脳出血で使用される薬

- **基礎疾患治療薬**
 - 高血圧治療薬
 - 高脂血症治療薬
 - 糖尿病治療薬など

高血圧治療薬

高血圧は脳梗塞の危険因子の一つです。
再び脳梗塞にならないように、血圧を正常に
保っていることがとても重要です。
その為に高血圧治療薬が処方されることが
しばしばあります。



高血圧治療薬 内服中の注意点

- 血圧の下がりすぎによる立ちくらみ、ふらつき
- 薬の飲み忘れ
- 決められたとおりに飲まない

→薬を飲んだり、飲まなかったり、
血圧が高い時だけ飲んだりすると、
血圧の変動が大きくなり、
再発の危険性が増します！！



代表的な高血圧治療薬

- アムロジピン、ニフェジピンなど
(Ca拮抗剤といわれます)



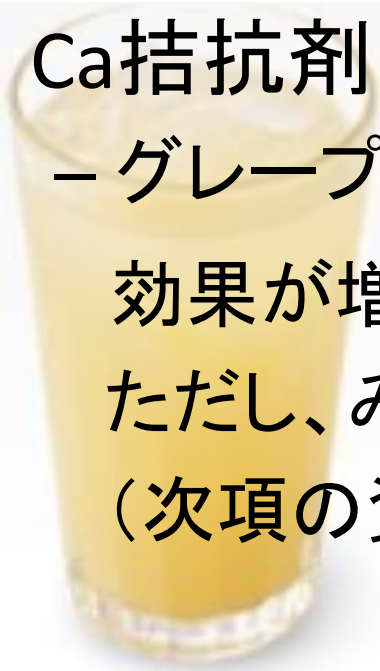
- Ca拮抗剤内服中の注意点

– グレープフルーツを食べると、

効果が増強して、**血圧が下がりすぎる！！**

ただし、みかんなどの他の柑橘類は大丈夫♥

(次項の資料参照)



その他柑橘類の資料 (薬に影響するDHBの含有量)



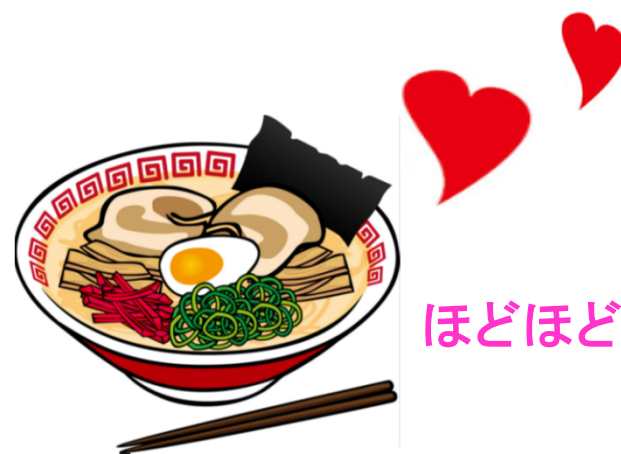
柑橘類	果汁DHB (ug/ml)	皮 (ug/ml)
グレープフルーツ	13.0	3600
スウィーティー	17.5	2400
メロゴールド	12.5	3400
晩白柚 (ばんべいゆ)	12.5	75.0
レッドポメロ	6.4	240
橙 (だいたい)	3.2	72.0
文旦 (ふんたん)	2.25	660
八朔 (はっさく)	0.92	20.0
サワーポメロ	1.0	1000
メキシカンライム	0.96	35.0
甘夏ミカン	0.6	1040
パール柑	0.9	20.0
三宝柑 (さんぼうかん)	0.4	40.0
レモン	0.05	180
日向夏	0.12	28.5
ネーブルオレンジ	0.05	0.24
スウィートオレンジ	0.01	16.0
温州ミカン	検出せず	検出せず
椪柑 (ぼんかん)	検出せず	0.08
伊予柑	検出せず	0.2
デコボン	検出せず	検出せず
柚	0.01	0.04
臭橙 (かぼす)	0.01	1.44
酢橘 (すだち)	検出せず	0.14
金柑 (きんかん)	検出せず	0.02

参考文献

Saita T et al. Screening of furanocoumarin derivatives in foods and crude drugs by enzyme-linked immunosorbent assay. Jpn. J. Pharm. Health Cre Sci. 2006; 32: 693-699.

高血圧治療で大切なこと

- 塩分を控える
- 腹八分目にする
- なるべく歩くようにする
(適度な運動)
- 自分の血圧を知る



脂質異常症治療薬

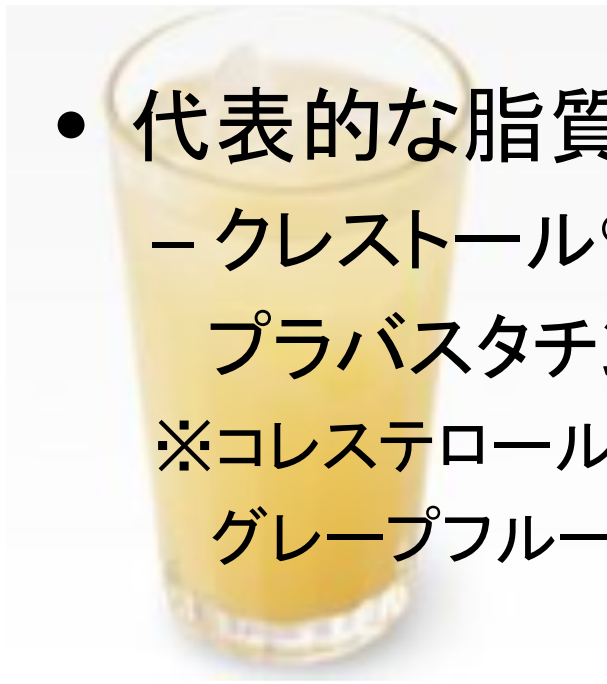
- 血液中のコレステロール値を下げて再発を予防します。



- 代表的な脂質異常症治療薬
– クレストール[®]、アトルバスタチン(リピトール[®])、
プラバスタチン(メバロチン[®]) など

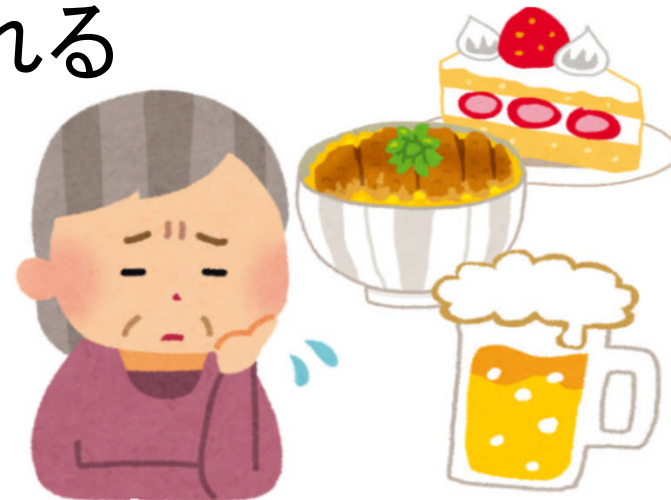
※コレステロールを下げる薬にも

グレープフルーツと相性が悪いものがあります



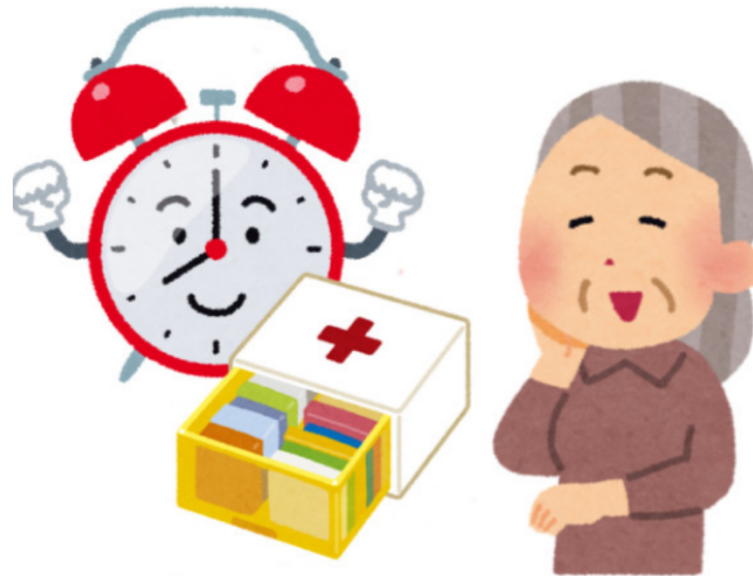
糖尿病治療薬

糖尿病も脳梗塞の危険因子の一つです。
放っておくと動脈硬化が進み、
脳梗塞の発生リスクが高まります。
その為、再発を予防するために、
糖尿病治療薬が処方される
こともあります。



糖尿病治療薬

- 糖尿病治療薬にはたくさんの種類があり、それぞれ飲み方や注意点が異なります。
- 飲んだり飲まなかったりは大変危険です。飲み忘れに注意しましょう。
- 用法用量は必ず守ってください。



最後に。。。

お薬手帳



ぜひ**お薬手帳**を活用してください。

お薬手帳を持っていると、

複数の病院や薬局にかかった場合、

全ての薬の**飲み合わせをチェック**したり

ほかの病院で何を処方されているのか

医師が確認する事が出来ます。

持って行くのを忘れた場合も帰ったら必ず

シールを貼ってください。

お薬で分からないことが
ありましたら、
医師、病院薬剤師または
薬局薬剤師にご相談下さい。

